

# 南中通信



令和6年12月2日(月)第11号  
発行者：大泉町立南中学校 柿沼 和広  
☎ 0276-62-2053 敬愛・克己・健康

## ～自己課題を自ら切り拓く、たくましい生徒の育成を目指して～

11月1日(金)の合唱コンクールから生徒会の新本部役員の活動が始まりました。これからの生徒会活動は2年生が中心となります。今まで学校の中心として活躍してくれた3年生をお手本に、新本部役員をリーダーとして、より良い南中学校にしてくれること期待しています。

### 〈新本部役員〉※敬称略

【会長】 渡邊 研太(2年2組)

【副会長】 チャットマン良波(2年1組) ルイズ アンドレス(2年2組)

【書記】 森田 皐月(2年1組) 西 美優(1年3組)

間普 遥(1年2組)

【会計】 井上 未莉(2年2組) 永島 琉楓(1年2組)

伊藤 エンゾ(1年3組)

## ～相手の立場を考え、助け合い、協力できる生徒の育成を目指して～

11月25日(月)6校時に「人権集会」を実施しました。集会では、3年2組の塚原めぐみさんによる「人権作文」の発表と校長講話がありました。

校長講話では、生徒が「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」を目標に、校長からの一方的な話ではなく、人権について「生徒が考える場面」や「考えたことを発表し合う場面」を設けました。詳しくは下記の通りです。ご家庭でも話題にさせていただけるとありがたいです。

### 〈校長講話〉

○今日の「人権集会」では、みなさんに「人権」について考えてもらい考えたこと、感じたことを今後の生活に活かしていただきたいと思います。

○まず、「人権」とは何ですか? 「人権」と聞くとどんなことを思い浮かべますか? 少し考えてください。

○今考えたこと、思い浮かべたことを、隣の人と発表し合ってください。どんなことでもいいです。分からないことがあったら質問してもいいし、自分の意見を伝えてもいいです。少し交流してみましょう。ただし、否定はしないでください。

○人権とは、わかりやすく言うと「人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利」で、「人間が生まれながらに持っているあたりまえの権利」です。

○さて、12月4日(水)から10日(火)までの一週間は、人権週間です。世界人権宣言の採択を記念して、日本では12月10日を最終日とする一週間を人権週間と定め、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重の考えの普及・高揚に努めています。

○世界人権宣言は、1948年（昭和23年）12月10日の国連総会で採択されたもので、「すべての人間は生まれながらにして自由であり、尊厳と権利とについて平等であること」などが示されています。詳しくは、後で調べてみてください。

しかし、残念なことです。現在も依然として多くの人権問題があり、偏見や差別に苦しんでいる人が大勢います。

○今日は、折角の機会ですので、次の3つの点について、自分を見つめ直してほしいと思います。発表はしませんので、安心して考えてください。自分の心の中にとどめておいていただければ結構です。

・「自分の心に偏見の芽がないか」

例えば、「血液型のみによる性格の判断があります。」「A型は神経質で几帳面とか・・・」

・「みんなと違うという理由だけで排除や差別をしていないか」

例えば「スマホをもっていないだけで、仲間に入れないとか・・・」

・「弱い立場の人をいじめていないか」

例えば「下級生をばかにするとか・・・」「弟や妹をいじめるとか・・・」

どうだったでしょうか。見直せたでしょうか。ぜひ今後の生活にいかしてください。

○そして、皆さんにお願いがあります。今日から心がけほしいことを3つお話します。

・「命を大切にすること」

・「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」

・「みんなと仲良くすること」

○最後に隣の人と今日の感想、感じたこと、思ったことを発表し合ってください。

★金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」を紹介します。

私が両手をひろげても、  
お空はちっとも飛べないが、  
飛べる小鳥は私のように、  
地面（じべた）を速く走れない。  
私がからだをゆすっても、  
きれいな音は出ないけど、  
あの鳴る鈴は私のように、  
たくさんな唄（うた）は知らないよ。  
鈴と、小鳥と、それから私、  
みんなちがって、みんないい。



「みんなちがって、みんないい」とても良い言葉ですね。

○これからの世の中を支えていく皆さんが、人権感覚を磨き、全ての人の人権が尊重され、幸福が実現する世の中にしてくれることを願っています。終わります。

〈校長の独り言〉

今日、生徒が人権について考え、意見交流する様子を見て、改めて南中学校は良い生徒ばかりで、良い学校だと確信しました。